

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	市民公益活動団体 石巻キャリア教育推進ネット	
代表者名	高橋 保幸	
連絡先 TEL : 090-7521-0324 FAX :	E-mail: ya_takahashijp@yahoo.co.jp	

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	学習への興味促進と地域の仕事理解への取り組み
事業の目的	目的としては、児童の好奇心を刺激する地域の資源を活用した体験授業、イベントを通じてキャリア教育を行い地域への愛着心、社会福祉の心、仕事や職業知識の醸成することにある。今回は小学生を対象に行い、次回は中学校へと接続をし、地域に根ざしたものとしたい。 実施に当たっては新型コロナウイルス感染拡大に対応した手法で行う。
事業の具体的内容	具体的な取り組み内容としては以下のとおり。 ○科学のイベント ・日時：令和 5 年 9 月 17 日午後 1 時から 4 時まで ・場所：放課後読書教室にて『科学の祭典』を開催した。 ・内容：オンラインで東京学芸大学小金井キャンパスとオンラインで結び、【「エネルギーの未来」発電を楽しみながら考える】【ガラスの中の「力」を見る?! 強いガラスの不思議】2つのテーマに沿って約 3 時間実験を行った。コロナ感染者増加により、前日キャンセルが相次いだため参加児童 7 名、保護者 7 名、スタッフ 6 名と参加者は少ないもののとても充実した時間が過ごせた。 ・所感：参加児童からは「楽しかった-!!」「家に持ち帰ってまた実験してみる!!」「次はいつやるの?」うれしい言葉が飛び交い保護者も積極的に参加し、児童と共に学びの時間を楽しんでいた。

	○小学校対象 ・日時：令和5年9月28日午前9時から正午まで ・場所：石巻市立大谷地小学校 ・内容：授業時間を使って『しめ縄作り授業』を行った。参加人数55名（小学3年生20名、4年生25名、支援学級4名、教職員6名）当団体スタッフ6名で実施した。昔から変わらずある伝統や、神様を迎えるためのしめ縄について皆で学び、田植えから稲刈りまで、自分たちが育てたワラを無駄なく活用することが、今学んでいるSDGSにもつながることを共有した。 3人で一つのチームになり、協力して一つのしめ縄を仕上げる。きちんと自分自身の役割を考えて作成しなければきれいに仕上がらないことを知り、一生懸命作ることが楽しいこと、友だちと協力して一つの作品作りに向き合うことがうれしいことを体験した。 ・所感：大変好評であり、再度是非お願いしたいと依頼があった。
活動の開始から完了までの流れ	○令和5年4月～ 事務局打ち合わせ、役割分担等調整確認した。 ○令和5年6月～ 『科学の祭典』事務局と打ち合わせを開始。その後、ガラス産業連合会環境広報部会、東京工業大学教授や当日指導いただく講師と打ち合わせを重ね、集客用チラシの配布を行った。4年ぶり本開催となる東京学芸大学小金井キャンパスとオンラインで結び、前日までにコロナ感染者の増加等でキャンセルが増えたものの参加児童7名を集めることができ有意義な時間となった。 ○令和5年7月～ 石巻市立大谷地小学校から連絡が入り、例年実施している「しめ縄づくり」の体験授業を行いたいとのことであった。数度の調整後お仕事の話や地域のコメ文化の話を交えた「しめ縄づくり」を行うことにした。子供たちに稲作文化の地域の歴史を知ってもらうため、自分たちが田植えを行い、稲刈りから乾燥までの一連の取り組みをした稲わらを使ってのしめ縄作成となった。
活動の成果と教訓	この活動を通じて地域への愛着心、社会福祉の心、仕事や職業知識の醸成に大きな効果があると共に、将来的には地域力向上への成果に繋がるものである。 参加した子どもたちの感想の一部を以下に抜粋する。 <科学の実験から> ・小さな材料を使っていろんな変化を見ることができて

	びっくりしました。紙を折り曲げて角度をつけるのが難しかった。ストローでいっぱい息を吹きかけたのに上手に豆電機がつかなくて悔しかったから家に持ち帰ってまたチャレンジしたいと思いました。 ・自分で作ったメガネをかけてガラスを見たら角度によって見え方が違って楽しかったです。知らない人もたくさんいたのに、みんなで同じように首をかしげているのがおもしろかったです。 ・遅れて参加したのにていねいにメガネの作り方やガラスの見え方を教えてもらってうれしかったです。次があったらまた参加したいと思います。 <しめ縄作りから> ・しめ縄の意味を知ることができてよかったです。お米を収穫して終わりではなく、最後までむだなく使っていて、すごいと思いました。友だちと協力して作ったので楽しかったです。 ・うまくできなくてもそこで終わりにしようと思ったけど、「もう一回やってみよう」と言われて作り直したら上手にできてうれしかった。あきらめないでがんばれてよかった。 ・みんなで一つずつ協力して作りました。縄をねじるのが難しかったけれど、出来上がったリースを見たらうれしくなりました。また作ってみたいと思います。
今後の展望など	今後も多くの子供たちに職業に関する体験や話を伝えていきたいと考えている。このようなキャリア教育は幼いころに体験することによって、先入観等が排除され、将来の職業選択に役立つことに繋がる。 これからある程度のロールモデルを形成した上で、行政等に呼びかけ継続的な実施ができるようにしていきたいと考えている。 この助成をいただいた「みやぎ生協」様には心から感謝いたします。 今後ともよろしくお願いいたします。

2、助成金使途報告書

■ 収入の部

確保した資金内容	金額（円）	備考
福祉活動助成金	390,000	
自己資金	1,093	
合計	391,093	

■ 支出の部

費目	内容	予算額 (円)	実支出額
謝金	講師及びコーディネーター等への謝金（内訳は別添のとおり）	220,000	230,000
旅費	実施に係る旅費（内訳は別添のとおり）	20,000	30,000
印刷費	活動記録（内訳は別添のとおり）	10,000	9,812
イベント会場費	今回は事務所を使用したため他の費用に充足	10,000	0
需用費	運営に必要な文具など（内訳は別添のとおり）	130,000	121,281
合計		390,000	391,093

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

3、送付必要書類

① 福祉活動助成金 助成活動報告書

プリントアウトしたものを1部郵送、データもメールでお送りください。

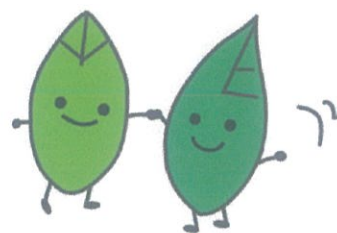
② 領収書のコピー（郵送）

③ 成果物（活動の様子がわかる写真、または事業で作成したものを郵送）

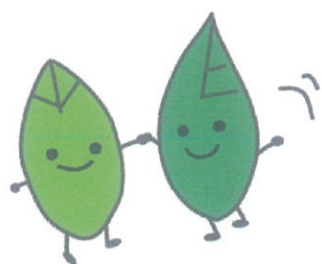
*写真は郵送とメールで送ってください。

石巻キャリア

教育推進ネット



子どもたちが学習を通じて将来の自分を考え地域資源の大切さを知る
知ることからつながる学びで 地域に根差した人材の育成につなげていきます



この事業はみやぎ生協福祉活動助成金の助成を受けています

科学の祭典



特性メガネを使用した
「強いガラスの不思議について」の実験

「エネルギーの未来」発電について



しめ縄づくり

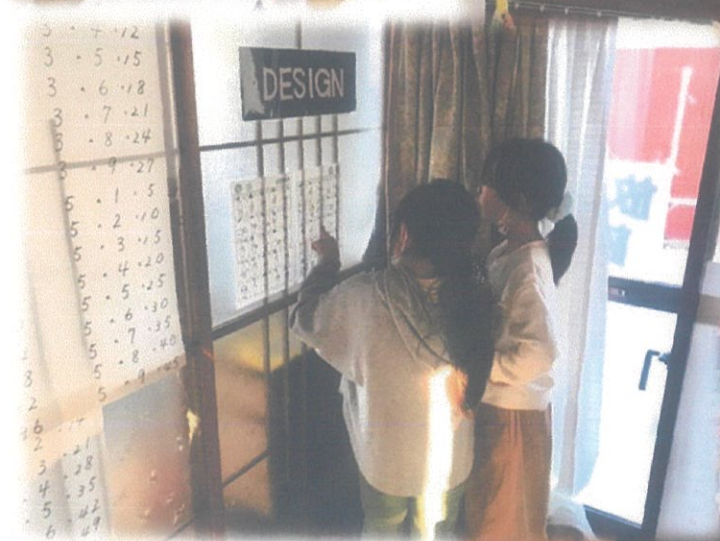


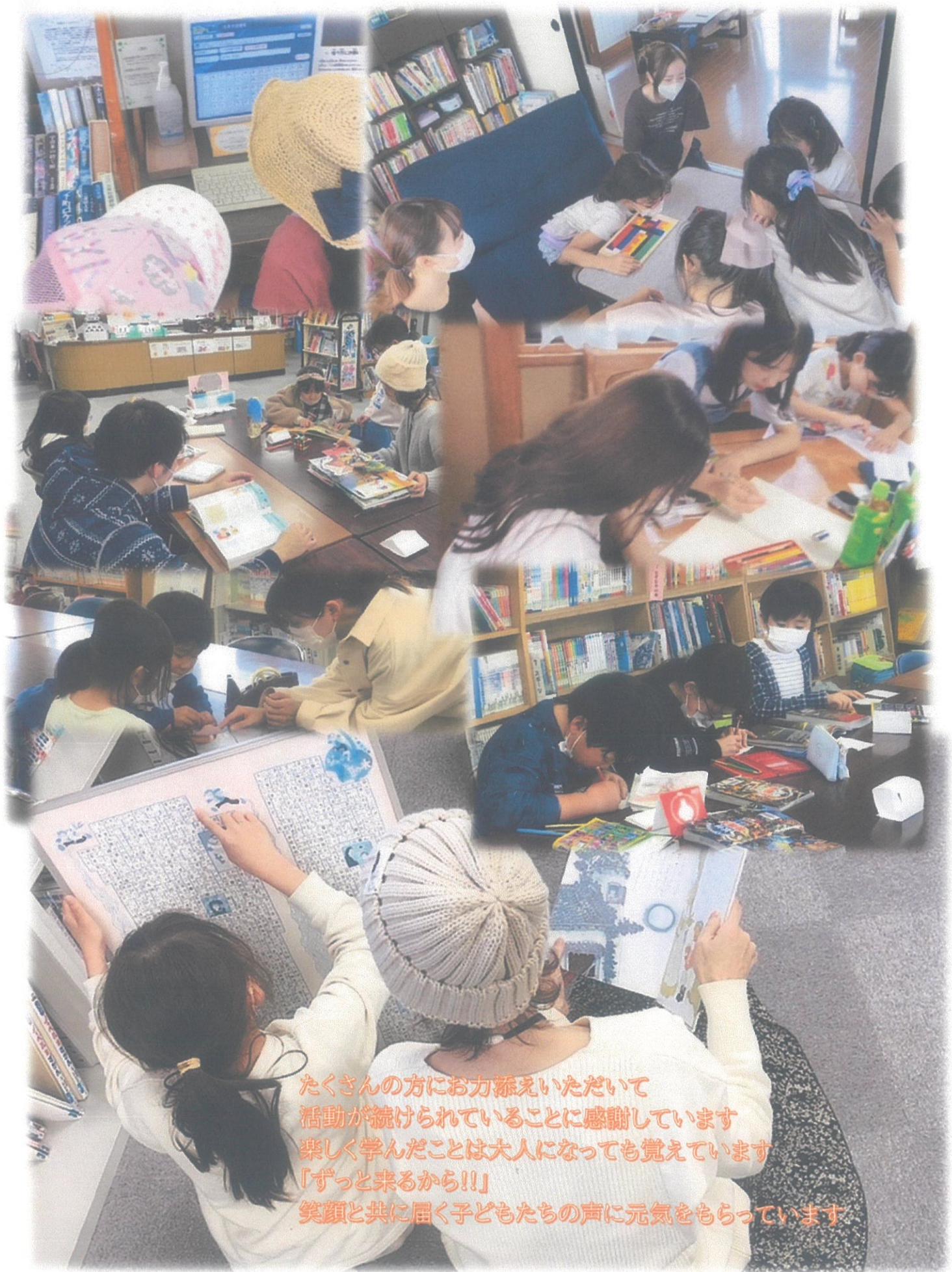
右手を自分の体に向かって引きながら作るしめ縄は幸せを呼び込むとされています。
自分たちが育てた稲のワラで作るしめ縄。3人一組になってそれぞれの役割を決めて協力しながら
作ります。1束のワラを3つに分けて、その3本を同じ強さにねじるからこそきれいにしめ縄を作る
ことができます。「力まずに何ごとも自然体で関わりたい」という願いがこめられています。



放課後読書

おもしろいからただ読むだけ...
そんな本に出合って欲しくて
放課後の居場所作り続けています





たくさんの方にお力添えいただいて
活動が続けられていることに感謝しています
楽しく学んだことは大人になっても覚えています
「ずっと来るから!!!」
笑顔と共に届く子どもたちの声に元気をもらっています



活動 5 年目…
 今日とは違う明日につなげていけるよう
 活動を続けていきたいと思ひます